

注意事項

1. 吸水が激しい下地等は、セルタイト#10またはセルマイティ#10・4~5倍希釈液を塗布して施工して下さい。
尚、ALC板は吸水が激しいので2回塗布してから施工して下さい。
2. 気温が5° C以下の場合は施工を中止するか、凍結しないように配慮して施工して下さい。
3. 1時間以上練り置いた材料は使用しないで下さい。
4. 一度の最大塗り厚の目安は、壁7mm程度、床10mm程度で、所定の塗り厚まで重ね塗りして下さい。
5. 吸水のある下地にセルタル混入モルタルで下地調整を行う場合、その上へのモルタル施工は乾燥しないうちに行って下さい。
6. セルタル混入モルタルの施工前に下地の脆弱部・ホコリ・汚れ・黒ノリ・ボンド等を完全除去して下さい。
7. 使用したコテ等の道具は直ちに水洗いして下さい。
8. 新設~3年程度のアスファルトは、油分によって「浮き」「はくり」を起こす場合があるので御使用は控えて下さい。

取扱い上の注意事項と応急処置

1. 目に入ったり、皮膚に触れたりすると炎症を起こすことがありますので、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
2. 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗浄し、医師の手当を受けて下さい。
3. 皮膚に触れた場合は、付着した部分を水または微温湯で十分洗浄して下さい。
4. 万一飲み込んだ場合は、診断を受けるまでの間に牛乳か水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当を受けて下さい。

保管上の注意事項

1. 直射日光および凍結を避けて保管して下さい。
2. 使用後の残液は缶を密閉して保管して下さい。

ホルムアルデヒド放散等級表示登録書

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	309018
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.Nsk-web.org/

廃棄上の注意事項

1. 内容物を廃棄する時は、産業廃棄物処理業者に処理を委託するか、焼却により処理して下さい。下水、河川、湖沼等への廃棄は絶対に避けて下さい。
2. 容器を廃棄する時は、中身を完全に除去して下さい。

漏出の注意事項 *詳しくは、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい

1. 少量流出の場合は、布、おが屑、砂などに吸収させて回収して下さい。
2. 大量流出の場合は、間に合わせの土提を作るなどして拡散を防ぎ、容器に回収するかバキューム車で汲み上げて下さい。
3. 河川、湖沼への多量流出した場合は、広範囲に白濁汚染を起こす恐れがありますので、地方自治体の担当者に直ちに連絡して下さい。

荷姿

容量	容器
18kg	角缶入り
3kg×6ヶ	ダンボールケース入り
18kg	ペール缶入り(特注)

◎当商品は、以下の製品の何れも使用しておりません。

①ユリア樹脂・②メラミン樹脂・③フェノール樹脂・④レゾルシノール樹脂・⑤ホルムアルデヒド系防腐剤・⑥メチロール基含有モノマー・⑦ロンガリット系触媒

◎このカタログの記載内容は2025年5月現在のものです。製品の改良のためにことわりなく仕様変更する場合があります。

◎このカタログ記載の数値は、規格値及び測定時の数値です。保証値ではありません。

特約店



ダイセルミライズ株式会社
産業資材グループ(大阪支店)

本社 〒108-8231 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
TEL 03-6711-8513 FAX 03-6711-8516

大阪支店 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB
TEL 06-7639-7471 FAX 06-7639-7477

2025.5.4000A

www.daicelmiraizu.com



SBR(合成ゴムラテックス)
モルタル混入用(カチオン系樹脂モル)

セルタル

JIS A 6203:2015(セメント混和用ポリマーディスページョン)規格に準拠



その一層に、
圧倒的な接着力。

ダイセルミライズ株式会社

セルタル

補修、改修、外装タイル張り付けモルタル用混和材

セルタルはSBR(合成ゴムラテックス系)の補修、改修、外装タイル張り付けセメントモルタル用混和材です。
セルタルをセメントモルタルに混入することにより接着性・防水性・耐薬品性・耐摩耗性・耐久性を大幅に改善することができます。



特長

- 1. 収縮率減少：減水効果があるために、モルタルのひび割れ防止効果が向上します。
- 2. 物理的強度：接着強度、曲げ強度、圧縮強度、耐摩耗性、耐衝撃性等が向上します。
- 3. 化学的特性：凍結融解性、耐透水性、耐酸性、耐アルカリ性が向上します。
- 4. 保水性：水保ちが良く保水性が向上します。
- 5. 作業性：薄塗りができ、コテ作業性が優れています。

性状

項目	規格値	
不揮発分(%)	45.0~46.0	
粘度(mPa・s)	1000~1600	20° C
pH	7.0~8.0	pHメーター

性能(JIS A 6203:2015)

試験項目	規格値	試験結果
曲げ強さ	8.0N/mm ² 以上	12.0N/mm ²
圧縮強さ	24.0N/mm ² 以上	58.7N/mm ²
接着強さ	1.0N/mm ² 以上	1.9N/mm ²
吸水率	10.0%以下	1.2%
透水量	15g以下	1g
長さ変化率	0~0.150%	0.041%

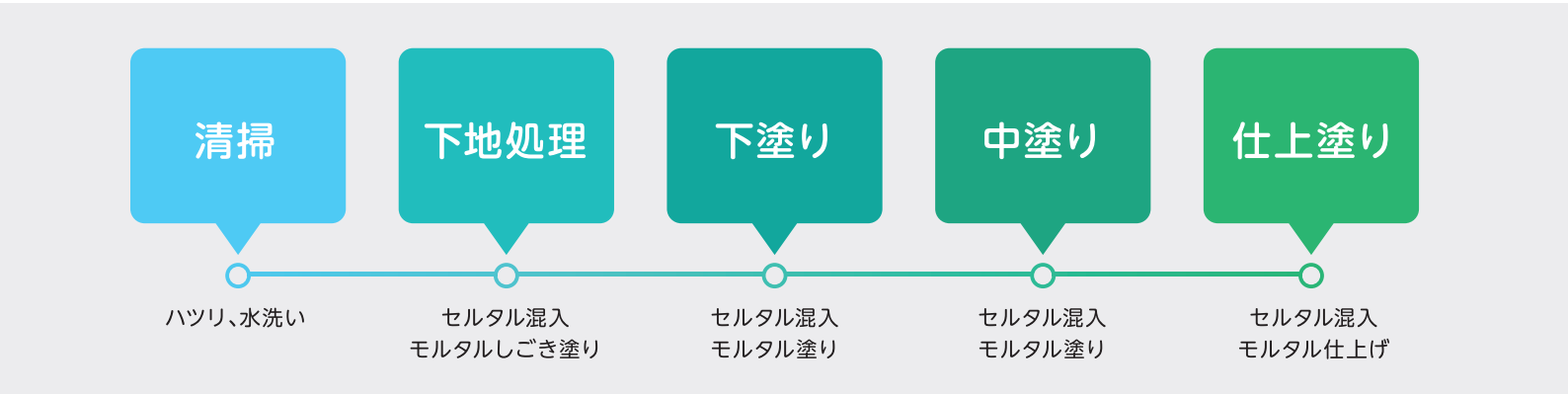
(財)日本塗料検査協会

標準調合票(例)

工法	セメント(kg)	珪砂(kg)	川砂(kg)	セルタル(kg)	水(kg)	セルブレン(g)	塗り厚(m/m)	塗り面積(m ²)	適用箇所
下地処理	25	#5 20	-	5	10	18	1	38	躯体の下地処理・ 屋上防水下地処理等
	25	#5 20	-	8	8	18	1	38	タイル・エポキシ・ 鉄部・吹き付け下地・ 打ち継ぎ処理等
下塗り	25	-	50	4	12	18	5~6	4	タイル下地モルタル等
中塗り	25	-	63	4	12	18	8~10	5	タイル下地モルタル・ 躯体の補修・改修等
	25	-	75	4	12	18	10	6	床・鉄骨階段・ タイル張り・ 床補修・改修等
仕上塗り	25	#7・8 25	-	5	10	35	2	21	しごき・薄塗り仕上げ・ フィラー工法・ 合板仕上げ等
張り付け用	25	#5・6 15	-	3	6	35	3	8	内装モルタル・ モザイクタイル張り等
	25	#5・6 25	-	3	6	35	5	10	小口平タイル・ 二丁掛けタイル張り等

- 1) セルタル混入モルタルは、ほとんどすべての下地によく接着します。
- 2) 適用箇所に応じて上記標準調合表(例)を参考にして下さい。
- 3) セルタル混入モルタルに直接溶剤系の仕上げ材を施工する場合、御相談下さい。
- 4) 特殊下地の場合(ウレタン、FRP、ステンレス、アルミ等)、専用プライマー(CRプライマーE-6000)をご使用下さい。

標準施工手順(例)



- 1) 清掃後、予め工法(用途)に応じた希釈液(セルタル1:水1又は2)を作ってから混入し、満遍なく行き渡るよう丁寧に攪拌して下さい。
- 2) 仕上げ養生後、表面化粧仕上げを行って下さい。(塗り付、吹付、タイル張り等)